

平成30年度

運営に関する計画

大阪市立十三小学校

大阪市立十三小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
 - 1. 規範意識
 - ・ 「十三 五か条の心得」を全学級に展開して校内のきまりを意識できるように継続指導していること、及び「安心ルール」を試行実施した結果、ほとんどの児童は、ルールやきまりの重要性を理解し、みんなで守ろうとする態度が育ってきている。
 - 2. 道徳心・社会性
 - ・ 道徳心・社会性の育成については、道徳科を研究教科として公開授業や研修会を通年実施したばかりか、授業参観で保護者・地域の方々に公開して、よりよい授業づくりをめざすとともに、「親切・思いやり週間」を設けて具体的な取組をすすめてきた。その結果、児童がだれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を考えて行動できるようになりつつある。次の段階として、さらに実践的な態度が育つよう、話し合い活動を通して、より多面的に物事を捉えたり、互いに考えを練り合ったりしながら、主体的かつ自律的に行動できる子どもを育てていきたい。
 - ・ なかよし班活動や異学年交流により、学年をこえて仲よく活動することができている。ただ、仲のよさにメリハリが欠けていて、規律ある集団行動が必要な場面でも、おしゃべりをしたりふざけ合ったりするなど緊張感のない態度も目立つ。高学年がリーダーシップを発揮する機会をとらえて指導し、高学年が低学年のために役割を果たして自己有用感を高めよう、また低学年は高学年に感謝し協力できるようにしてさらに社会性を育てたい。
 - 3. 睡眠習慣
 - ・ 区全体の取組でもある睡眠習慣の改善については、アンケートの結果、「決められた時刻までに寝ている」と答えた児童が46%と目標を下回る結果だったので、今まで以上に学校の情報を保護者・地域に発信し、区役所や保護者の協力を得て、睡眠習慣の改善につなげたい。
- 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上
 - 1. 学力
 - ・ 平成29年度全国学力・学習状況調査においては、国語B（主に記述して解答するもの）については、全国平均を上回ったが、国語A・算数A・Bは全国平均を下回った。また大阪市学力経年調査に関する全市目標には届かなかった。基礎的・基本的な内容の理解が十分でない児童や、一定の理解はできているものの、発展的な内容の理解は難しい児童がいるなど学力の二極化もみられた。今後は、学習時の姿勢をよくして授業に対し集中して取り組むことや、話し合い活動や発表などを取り入れた児童主体の授業形態を日常のものとする、また習熟度別指導や個別指導等で児童が学習内容を確実に理解することに注力する。また、ICT機器を効果的に使用して、学習に対する興味関心を高め、内容理解の補助とする。
 - 2. 体力
 - ・ 平成29年度全国体力・運動能力調査においては、男子・女子ともに全国平均を上回ることができた。今後もさらに体力を高めていくために、全学年を対象に「運動チャレンジ週間」を実施し、瞬発力や、バランス感覚、持久力を高める運動を楽しんで行うことで日常の運動習慣をつける。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

（施策 2 道徳心・社会性の育成）

- 平成 32 年度の学校アンケートにおける「友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。
- 平成 32 年度の学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

- 平成 32 年度の学校教育に関わる取組への家庭・地域の参加者数を、年間 450 人以上にする。
- 平成 32 年度の学校アンケートにおける「学校のホームページを見ている」の項目について、「月に 1 回以上見ている」保護者の割合を 85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、100 以上にする。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）
- 平成 32 年度の学校アンケートにおける「よい姿勢で学習していますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

（施策 6 国際社会において生き抜く力の育成）

- 平成 32 年度の学校アンケートにおいて「ICT 機器（タブレットやパソコン等）を使うことで、興味をもって学習することができましたか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

（施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成）

- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平均で男子 53 点以上、女子 56 点以上にする。
- 平成 32 年度の学校アンケートにおける「9 時までに寝ていますか（1・2 年）」「9 時 30 分までに寝ていますか（3・4 年）」「10 時までに寝ていますか（5・6 年）」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

（施策2 道徳心・社会性の育成）

- 学校アンケートにおける「友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を82%以上にする。
- 学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。

（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

- 学校教育に関わる取組への家庭・地域の参加者数を、年間410人以上にする。
- 学校アンケートにおける「学校のホームページを見ている」の項目について、「月に1回以上見ている」保護者の割合を85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 2 割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平均で男子 51 点以上、女子 54 点以上にする。

学校の年度目標

（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- 学校アンケートにおける「よい姿勢で学習していますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

（施策 6 国際社会において生き抜く力の育成）

- 学校アンケートにおいて「ICT 機器（タブレットやパソコン等）を使うことで、興味をもって学習することができましたか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

（施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成）

- 学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか（1・2年）」「9時30分までに寝ていますか（3・4年）」「10時までに寝ていますか（5・6年）」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 50%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立十三小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。 ○ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p>学校の年度目標</p> <p>（施策2 道徳心・社会性の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校アンケートにおける「友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を82%以上にする。 ○ 学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。 <p>（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育に関わる取組への家庭・地域の参加者数を、年間410人以上にする。 ○ 学校アンケートにおける「学校のホームページを見ている」の項目について、「月に1回以上見ている」保護者の割合を85%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>児童の互いを認め合う態度を育て、いじめは絶対に許されない文化を学校に醸成する。</p> <hr/> <p>指標 ① 「いじめについて考える日」を実施し、その後もいじめについて継続指導を行い、児童が友だちを大切にすることを養う。</p> <p>② いじめアンケートを児童に年3回、保護者に年2回実施し、いじめがあれば、解消に向けて全教職員で取り組む。</p>	
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>学校のきまりを守ることに生活目標を設定し、日常的に繰り返し指導する。</p> <hr/> <p>指標 ① 毎週、生活目標についてアンケートを実施し、達成状況を確認する。</p> <p>② チャイムの合図を守る児童を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>「学校安心ルール」を児童・保護者に周知し、暴力行為を許さない文化を学校や学級に醸成する。また、様々な問題を話し合いで解決できるようにする。</p> <hr/> <p>指標 「何か問題が起こった時に話し合いで解決している」と答える児童を82%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p>	

<p>児童の小さな変化に気付き、様子がいつもと違う場合には、管理職、養護教諭やスクールカウンセラー等に相談し、対応する。</p>	
<p>指標 月に1回の職員会議や児童理解研修会で、児童の様子について全職員で共通理解を図る。</p>	
<p>取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>道徳の時間を要として、各教科・領域で話し合いやグループ活動等で、相互理解・共感を広げる取組を行うことにより、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする子どもを育成する。</p>	
<p>指標 年2回「親切・思いやり」週間を設定して、自分自身を振り返ると共に、親切で思いやりのある行動に対する動機づけをする。</p>	
<p>取組内容⑥【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>自己肯定感を醸成するとともに、互いを認め合う態度を育てることができるよう、年間計画に基づいて人権教育を実施する。</p>	
<p>指標 ① 月2回以上、なかよし班活動や児童集会などの異学年交流を図り、互いに理解し学び合う機会を設定する。</p> <p>② 各種名人を様々な分野で設定し、児童みんなで認め合う場を設ける。</p>	
<p>取組内容⑦【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学校行事や教科・領域指導・読み聞かせ・放課後ステップアップ教室・見守り隊活動・交通安全指導・防犯・防災訓練などの取組への家庭・地域の参加を図る。</p>	
<p>指標 学校行事への参加を促すため、手紙やホームページなどで月2回以上参加を呼び掛ける。</p>	
<p>取組内容⑧【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学校だより・学校ホームページを通して情報を発信し、学校の取組に対する情報の共有を推進する。</p>	
<p>指標 ① 情報の共有を図るため、学校ホームページを週2回以上更新する。</p> <p>② 学校ホームページの年間アクセス数を前年度以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p>	
<p>【取組内容】について</p>	
<p>今後の改善点</p>	
<p>【目標設定について】</p>	

大阪市立十三小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組みず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと） ○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント減少させる。 ○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント増加させる。 ○ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平均で男子51点以上、女子54点以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <p>（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校アンケートにおける「よい姿勢で学習していますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 <p>（施策6 国際社会において生き抜く力の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校アンケートにおいて「ICT機器（タブレットやパソコン等）を使うことで、興味をもって学習することができたか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 <p>（施策7 健康や体力を保持増進する力の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか（1・2年）」「9時30分までに寝ていますか（3・4年）」「10時までに寝ていますか（5・6年）」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 基礎的・基本的な内容を確実に定着させるために、3～6年生の国語と算数における習熟度別指導を充実させる。</p> <p>指標 学校アンケートにおける「習熟度別授業は自分のペースにあっているので授業内容が理解しやすい」と答える児童を84%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 全学年で毎日課題（宿題）を提供し、学習習慣の定着をはかる。</p> <p>指標 ①課題の提出率を90%以上にする。 ②1日10分以上読書をする児童を74%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 各教科・領域指導において、対話を通して深い学びを実現するために、言語活動を取り入れた授業を行う。</p> <p>指標 各教科・領域指導において、対話を通して深い学びを実現するために、ペア交流やグループ交流・全体交流など言語活動を取り入れた授業を1日に4回以上行う。</p>	
<p>取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 総合的な体力向上へ向けて「運動チャレンジ週間」をもうけ、体を動かすことが楽しいと思う児童を育て、楽しみながら児童が体幹を鍛えられるようにする。</p> <p>指標 ①学校アンケートにおいて「体を動かすことが楽しい」と答える児童の割合を80%以上にする。 ②体育のミニ研修を年間2回以上行い、基礎体力の向上をはかるための指導力を高める。</p>	
<p>取組内容⑤【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 心理療法の一つである動作法を取り入れ、よい姿勢で立ったり座ったりすることを児童全員に意識させて、よりよい成長発達を促し、学習に集中して取り組むことができるようにする。</p> <p>指標 ①「よい姿勢の約束」を教室に常掲し、授業の最初に確認してよい姿勢をとらせる。 ②全教員がスクールカウンセラーから、動作法に関する研修を受ける。 ③スクールカウンセラーと連携し、姿勢の大切さに関する授業を年1回以上行う。</p>	
<p>取組内容⑥【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 各教科や領域指導にICT機器を活用し、授業を行う。</p> <p>指標 各教科や領域指導でICT機器を活用した授業を週2回以上行う。</p>	
<p>取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 健康週間、保健指導や学級指導等を計画・実施し、「早寝・早起き」の習慣を身につけさせる。</p> <p>指標 ①「早寝・早起きを意識して生活できている」と、肯定的に答える保護者の割合を65%以上にする。 ②小学校学力経年調査の質問項目「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」に対して、肯定的回答をする児童の割合を昨年度より向上させる。 ③健康週間を学期に1回設定し、学期ごとに「早寝・早起き」の達成状況をグラフ化して家庭に啓発する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について 【取組内容】について	
今後の改善点	
【目標設定について】	